



## 磐梯吾妻スカイライン

# 磐梯吾妻道路 磐梯吾妻スカイラインの概要

## 「日本の道100選」にも選ばれた、福島県の観光のシンボル

磐梯吾妻スカイラインは、磐梯朝日国立公園内奥羽山脈の主峰のひとつ、吾妻連峰を縦走する平均標高1,350m延長28.7kmの山岳自動車道で、福島市から日本有数の観光地である磐梯高原へ通じる道路です。

全国の山岳観光有料道路の先駆けとして、福島県が昭和29年に観光及び産業開発を目的に着工し、昭和32年に日本道路公団が引継ぎ、昭和34年11月に開通し、昭和47年1月に当会社が引継ぎました。

昭和62年に建設省（現国土交通省）の「日本の道100

選」にも選ばれ、さらに平成12年4月には朽化した不動沢橋の架け替えを行い、新たな魅力を加え、累計の通行台数は875万台を数えるなど、これまで福島県の観光のシンボルとして愛され続けてきました。

遠く蔵王連峰を望み、左右に安達太良山・磐梯山を抱く雄大なスケールは比類がなく、噴火口・湖沼・湿地帯など変化に富んだ景色は、故 井上靖氏が日本一といって「吾妻八景」を選んだことでもわかるように、日本屈指の山岳道路です。



土湯ゲートの日本の道100選の看板



つばくろ谷と不動沢橋

### 概要

道路名	磐梯吾妻道路
路線名	県道 福島吾妻裏磐梯線
愛称(由来)	磐梯吾妻スカイライン 国内で初めての山岳有料道路として建設され、空(スカイ)へ続く道ということで、「スカイライン」と呼称されるようになった。
区間	福島市町庭坂字高湯 福島市土湯温泉町字鷺倉山
延長	28.7km
道路の区分	第3種4級
道路幅員	4.0~5.5m
設計速度	35km/h
工事着工年月日	昭和29年3月16日
事業費	32億5千7百万円
有料道路供用期間	自:昭和34年11月6日 (昭和47年1月1日道路公団より引継ぎ) 至:平成25年7月24日
通行台数	8,750,135台



吾妻小富士とスカイライン



雪の回廊



浄土平



つばくろ谷と不動沢橋



五色沼  
エゾヤマリンドウ  
(浄土平)



双竜の辻

磐梯吾妻スカイライン  
総延長 28.7km



国見台

至  
裏  
磐  
梯  
・  
五  
色  
沼  
経  
由



スカイライン  
最高地点  
1,622m

吾妻小富士

桶沼  
「斎藤茂吉」歌碑

兔平野営場  
(兔平キャンプ場)

鳥小平

雪の回廊(5月中旬ごろまで)  
春には雪の回廊が見られます。



天狗の庭からの紅葉



福島市内から吾妻連峰を眺む

吾妻八景

●吾妻八景  
磐梯吾妻スカイラインは、昭和34年11月6日に開通しました。「吾妻八景」はそれに先立つ10月に福島民報社が選定し、作家・井上靖氏が命名したものです。

## 磐梯吾妻道路 磐梯吾妻スカイラインの経緯①

- 昭和25年 9月 5日 磐梯朝日国立公園指定  
昭和28年 6月 5日 現地測量開始  
7月 7日 県道「福島・裏磐梯線」認定  
昭和29年 3月 16日 **福島県が有料道路「裏磐梯道路」着工**  
昭和31年 3月 14日 日本道路公団法公布  
昭和32年 8月 1日 **福島県から日本道路公団に引継ぎ**  
昭和34年 10月 「吾妻八景」選定(福島民報社主催)  
10月 22日 「磐梯吾妻道路」の名称決定  
11月 6日 **供用開始(①新聞記事、②写真)**  
昭和35年 6月 日活映画「赤い夕日の渡り鳥」ロケーション  
12月 「花のスカイライン(作詞:内海久二 作曲:古関裕二 歌手:守屋浩)」発売  
(③歌詞)  
昭和36年 9月 7日 昭和天皇、皇后両陛下下行幸啓(④写真)  
10月 30日 浄土平レストハウス完成(⑤写真)  
昭和45年 5月 20日 地方道路公社法公布  
昭和46年 6月 1日 **福島県道路公社発足**  
(10頁に続く)

【③歌詞】

### 花のスカイライン

作詞 内海 久二  
作曲 古関 裕而

晴れた吾妻の 峰越えて 雲は憧れ 乗せてゆく  
白樺の こぼれ陽が 君の瞳に 輝くよ

※花のロマンス・ウエイ 虹のロマンス・ウエイ  
おお夢まつ スカイライン

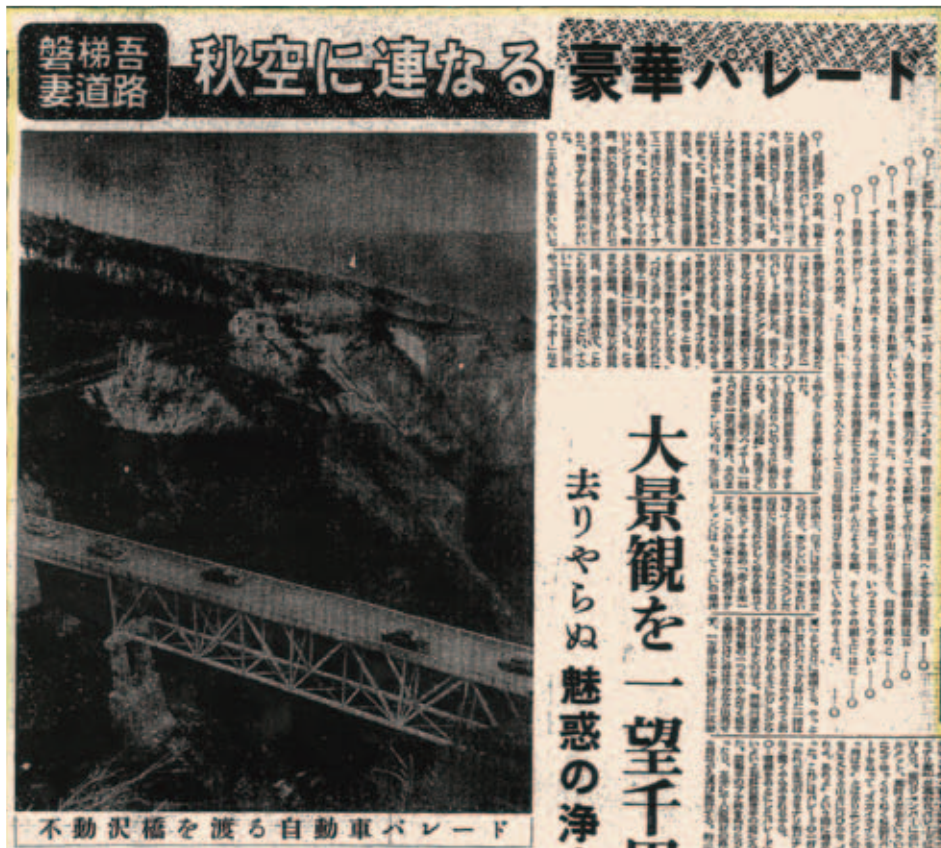
谷の清水に続く道 遠く光は残雪か

山脈を 指させば 胸は高鳴る 磐梯よ

※花のロマンス・ウエイ 虹のロマンス・ウエイ  
おお夢まつ スカイライン

青き湖畔に 風もなく 返るこだまは 君の歌  
高原を駆けめぐる 若い思いよ よろこびよ

※花のロマンス・ウエイ 虹のロマンス・ウエイ  
おお夢まつ スカイライン



【①新聞記事】福島民報 昭和34年11月6日(金)



【②写真】供用開始時の様子



【③写真】浄土平レストハウス



【④写真】昭和天皇・皇后両陛下下行幸啓

## 磐梯吾妻道路 磐梯吾妻スカイラインの経緯②

昭和47年	1月	1日	福島県道路公社が日本道路公団より引継ぎ
	4月	24日	道路公社による再開通式実施(①新聞記事)
	4月	24日	高湯売店、不動沢橋売店営業開始
昭和53年	9月	30日	磐梯山有料道路、第二磐梯吾妻道路とのプール制許可
昭和62年	8月	1日	「日本の道100選」に選定(②写真)
平成8年	6月	17日	不動沢橋架替工事着工(③写真)
平成12年	3月	31日	高湯売店・不動沢売店廃止
	4月	11日	不動沢橋レストハウス営業開始
	4月	13日	不動沢橋架替事業完了
平成18年	4月	8日	花見山公園と連動した観光ルート形成のため「雪の回廊」を整備し 早期再開通を実施(④写真)
平成21年	11月	5日	スカイライン開通50周年
平成23年	3月	31日	不動沢橋レストハウス営業廃止
	7月	16日	福島県による東日本大震災からの観光復興施策の一環として 無料開放措置を実施(平成25年7月24日まで継続)
平成25年	7月	24日	料金徴収期間満了
	7月	25日	福島県道路公社から福島県へ引継ぎ

料金改定の経緯(普通車※供用開始時は普通自動車[乗用]の料金)

年月日	料金	改訂理由
昭和34年11月6日(供用開始時)	700円	
昭和51年4月20日	1000円	経済事情の変動による
昭和57年11月1日	1500円	経済事情の変動による
平成元年4月22日	1540円	消費税転嫁(3%)
平成9年4月15日	1570円	消費税転嫁(3%→5%)

通行台数の経緯

年月日	料金	所要期間
昭和44年6月	累計100万台突破	9年7か月
昭和48年8月11日	累計200万台突破	4年2か月
昭和52年10月23日	累計300万台突破	4年2か月
昭和57年11月14日	累計400万台突破	5年1か月
昭和63年10月29日	累計500万台突破	5年11か月
平成6年10月12日	累計600万台突破	6年
平成13年7月2日	累計700万台突破	6年8か月
平成21年7月7日	累計800万台突破	8年



【①新聞記事】  
福島民友 昭和47年4月24日(月)



【②写真】「日本の道100選」顕彰碑  
(吾妻小富士登山口)



【④写真】雪の回廊



【③写真】不動沢橋架替工事

# スカイラインの 景観

一切経の雄姿と  
浄土平の妖しいほどの美しさ。  
蛇行する道路と変化する景観が魅力。



かもしか沢周辺の紅葉

不動沢橋の朝焼け



エゾオヤマリンドウと一切経



乙女坂周辺の紅葉



早期除雪の様子



五色沼(魔女の瞳)



つばくろ谷の紅葉



賽の河原

## 磐梯吾妻道路 附帯施設の概要

### 不動沢橋無料休憩所【磐梯吾妻スカイライン】

区 分	不動沢橋無料休憩所
所 在 地	福島市町庭坂字神ノ森1-36地内
事業主体	福島県道路公社
事業費	37,548千円
営業開始日	平成12年4月11日
建物構造	木造平屋建
建物面積	132.5㎡
施設内容	無料休憩所
駐車場	普通車25台
これまでの経過	<p>S47.4.24 不動沢売店(コンクリートブロック造平屋建 23.7㎡) 営業開始(福島県有料道路業務受託(株)と営業契約)</p> <p>H12.3.31 不動沢売店廃止</p> <p>H12.4.11 <b>不動沢橋レストハウスの営業開始</b> (福島県観光開発公社と営業契約)</p> <p>H20.4.1 団体統合により営業契約者の名称変更 (福島県観光物産交流協会)</p> <p>H23.3.31 レストハウスの営業廃止</p> <p>H23.4.28 無料休憩所として運営</p> <p>H25.7.25 福島県へ引継ぎ</p>

